



## 「ノーベル賞・大村智先生講演会」



今回は皆さまご存知、ノーベル医学生理学賞の受賞が決定された大村智先生のお話し。微生物が作り出す成分に焦点をあて、アフリカの難病を救ったイベルメクチンをはじめ、これまで30に迫る種類の医薬品や動物薬、研究用試薬を見出しましたという方です。製薬を志す研究者が一生に1つ新薬を開発できれば御の字という中、一連の成果はまさに卓越したものですね。

さて、その大村先生の受賞決定後はじめての講演を直に聞く機会があったのでまとめを。大村先生に関する著作を書いた、馬場先生という方との対談形式でしたが、なんとも気さく。学術的な内容はひとまず置いてメッセージをまとめる。①一生懸命勉強や努力は当たり前。②その上で、一期一会を大切にする…会って生まれるつきあいを大切にするかどうかで大きな差が生まれてくる。③そして後進の指導をしっかりやること。

科学に限らず社会一般、どこかボランティアにも通じるものがある気がします。

科学グループ 熊本隆之(薬剤師／博士[薬学])

各グループから  
ホットな話題を  
毎号シリーズで  
お届けします!

## 「宇宙創成の謎にせまる」 宇レター

二人の日本人ノーベル賞受賞の快挙に沸きました。梶田先生の受賞は「ニュートリノの質量の発見」というもの。ニュートリノは大きさが1000兆分の1ミリ以下で宇宙空間に充満していて、1秒間に私たちの体を“100兆個”もすり抜けています。研究を続けることで宇宙創成の手がかりを掴めるかもしれませんとのことです。

一方、はやぶさ2も小惑星「Ryugu」を目指して時速約10万キロで航行中。12月には地球スイングバイでさらに加速して、2018年の6月頃到着し、地中のサンプルを持ち帰り太陽系誕生の謎や生命の起源に迫る研究に役立てるそうです。

どちらも日本の科学技術の粋を集めての研究、壮大な宇宙のロマンを感じます。

天文グループ 金沢喜弘

## 「知識の泉」



私は、都会にいたころ、東京の発明学会に入会していて、良いアイデアが浮かぶと、図面を書いて学会に相談に行き、良い案だと言われれば、特許庁に出願して、企業に売り込みをかけました。

皆さんにもご存じの方が居られると思いますが、出願しただけでは特許になりません。出願してから3年以内に審査請求をして合格しなければ、特許は取れません。

出願したなら、他に先願者がないかぎり権利が発生して、他の人にはマネが出来ません。出願して1年半で、特許庁の広報に載り、その間に合格しなければ、誰が作って販売しても良くなります。

市の西部工業団地内に県のハイテクプラザがあり、その中の発明協会が無料で相談に乗ってくれます。

案内グループ 先崎豊

## S.P.V活動情報

~3月

ほかに公民館など市内出張活動を予定

### 案 内

#### “昔懐かし”紙芝居(約15分)

●随时実演 ☆展望ロビー(北)

#### ジオラマショー案内(約20分)

●11:00~、15:00~、17:00~  
☆展望ロビー(東)

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承ください。

### 科 学

#### かんたん科学工作ほか

●土日祝 10:00~15:30  
☆21階展示ゾーン入館者対象

### 出張活動

#### 熱海出張活動

●1/9(土) ☆熱海公民館 3世代交流会

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第48号3月中旬★

\*S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報を  
HPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編 集  
あとがき

科学グループ(山) 全体研修で訪れた霞城セントラルは周囲にも観光資源たっぷり!産業科学館も見応えたっぷりなので機会があれば是非!

案内グループ(菅) 今年も一年があっという間に過ぎてしまいます。いつもこの時期に思うのですが…

天文グループ(鹿) 冬は空気が澄み、星がよく見える季節です。たくさんの星々と会話しましょう。イヤなこと忘れられますよ。

案内グループ(古) 磐越西線の新しい駅「郡山富田駅」2017年春開業!

## 予 告

### 平成27年度【来場無料】 ボランティアまつり!

平成28年3月19日(土)~21日(月・祝)の3日間、  
ふれあい科学館22階の展望ロビーにおいて、  
毎年恒例のボランティアまつりを開催します。  
皆さん、ぜひ科学館に遊びに来てください。



●スペースパークボランティアの会●


  
**第47号 2015 DECEMBER**

発行／スペースパークボランティアの会 広報部会
〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 TEL 024-936-0201 FAX 024-936-0089

## 全体研修報告

山形県産業科学館

2015年11月7日(土)



### はじめての全体研修参加を通して

山形県産業科学館へボランティア研修会に行ってきました。私は初めての研修会への参加のため少しドキドキしながらも、バスの中でみんなとお話しているうちにあっという間に山形市に到着。着いてすぐに交流会を行い、お互いのボランティア活動についてや、施設の説明などをしていただきました。

その後、山形県産業科学館がある霞城セントラルビルの24階で山形市の景色を見ながら美味しい昼食を食べました。そして、午後からは科学館内の見学。ガイドボランティアの方と一緒に施設内を見て回りました。2階から4階まである中で始めは2階。工作や実験、山形県の伝統的な鋳物、有機ELなど一同釘付けでした。新エネルギーの体験をしながら進んでいくとフーコーの振り子があり、ゆっくり螺旋階段を上り3階。3階に行くとたくさんの山形県内にある産業技術の展示があり、見るだけでなく、実際に触れたりして、先端技術を知ることができました。4階には、光や電気や力などの様々なテーマから学べる科学の広場で大人も子どもも一緒にになって科学を楽しめました。

私の初めての研修会は、とても学べることがたくさんあり、素敵なものになりました!ありがとうございました!



### 現地ボランティアとの交流を通じて

初めての産業科学館に心躍る今回の全体研修!賑やかに入館する私たちを山形の皆さんのが温かく迎えて下さいました。午前中はボランティア交流会です。お互いの特色や運営について理解を深め、どういったことを意識して工作メニューを決めていたのかなど具体的な活動内容に関する質問が飛び交いました。

午後には先方ボランティアの活動に接する時間が設けられ、グループに分かれ見学です。特に科学グループ向けには、活動内容が似通っており参考になることも多そうだったので、工作体験を多めに設定して頂きました。ボランティア各自が自身の得意分野を活かして提供する工作体験には大変感心させられ、進め方・見せ方も勉強になりました。そして、その後のガイドツアーで感じたことがですが、帰りに伊藤館長からお話をあった通り、展示物を解説して下さる方が一緒に理解度も満足度も段違いですね。同時に、館の皆さんのが科学や故郷を愛する想いがひしひしと伝わってきました。

自分達のいい点・足りない点、色々なものが見えてきて、それを参加者みんなで共有できたことが、この全体研修最大の成果かもしれません。仲間たちと知恵を出し合って、この経験を活動に反映していきたいと思います。

科学グループ  
山田善貴

### スペースパークボランティア募集!

\*無償参加可能な方。応募条件有り。  
詳しくはお問い合わせください。

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館  
**TEL 024-936-0201**

## 館内イベント



### サイエンスフェスティバル 活動報告

展示ゾーン 9月19日(土)~23日(水)

9月19日から23日、シルバーウィークに行われたサイエンスフェスティバルは沢山のお客様にご来館いただき大盛況でした。

科学ボランティアでは『リリュージョンカード』の工作を展出しました。8×9cm位の四角の厚紙には、表に魚、裏に水槽の絵が描かれていて、それに好きな色を塗ってもらいます。厚紙の両端に輪ゴムを通してくるくる回すと、アラ!不思議!水槽の中で魚が泳いでいるように見えるではありませんか。

工作的過程では様々な工夫が見られました。水槽に岩や小石、海草を描き、まるで海の中のように…また、魚の面にも小さな魚を加えて家族にしたりと、子ども達の想像はどんどん膨らみます。

さらには、絵の得意なお父さんは、水槽の縁に手をかける猫の絵を描き、猫が水槽の魚を狙っているようにしたのです!発想に「びっくりほん!」です。周りの人たちから称賛を受けるお父さんに尊敬の眼差しを向ける子どもさん。そうした様子を見たりするのも活動していて嬉しい瞬間です。

21階展示ゾーンでは複数の高校の学生さんによるおもしろ実験や工作が行われ、他にも風船アートやクイズ大会など充実したプログラムが盛り沢山で、子どもさんにも大人にも1日中楽しめる5日間でした。

科学グループ 三澤トシ子

### 鉄道フェスティバル2015を 終えて

展示ゾーン 10月10日(土)~12日(月)

Nゲージ操作体験が、また今年もやってまいりました。いつものメンバーも加わりいろんな車両を走らせました。

しかし一つ心残りが…。それは自分の持ち込み車両をあまり走らせられなかつたことです。

本来はスペースパークが主催しているイベントですから、走らせるしたら故障した車両の代理であり目立たずにそのままにしておきました。

まだ誰も来ていないオープン前にひっそりと走らせてましたが、やはり一人だけだとなんだか空しい気分になりました…。ですが、前からツイッターで知り合った人や、白河から来てメール交換するほど仲良くなった人など、今後常連になりそうな人もこのイベントを楽しんでおり、今年もイベントは大成功だと思う3日間でした。

次回は3月のボランティアまつりで走らせるかもしれないが、鉄道ファンもそうでない方も是非遊びに来て下さい。



案内グループ 古田高廣

### 案内グループ勉強会

郡山市歴史資料館 10月18日(日)

10月18日(日)午後1時より案内グループ8名は、郡山市歴史資料館にて歴史の活用ということで郡山の歴史きらめき出前講座を受けました。

資料館では展示品を見ながら説明を受けました。安積開拓がありそして安積疎水ができ今日の郡山市ができるという話に感動しました。

また、史跡めぐりとして麓山公園には神社、滝、弁天池、遊女句碑などがあり、水天宮は駅前に建立してありますので散策してみてはいかがですか。

案内グループ 森和江



## 出張活動報告

### 出張観望会 活動報告

小野ふれあいの森公園 8月9日(土)・18日(火)・21日(金)

毎年、学校が夏休みの期間中に開催されるのが小野ふれあいの森公園での出張観望会です。今シーズンは7回開催しました。

小野町近隣の地域の小学生や中学生とその保護者が森の自然を満喫できる宿泊施設で自然体験するプログラムの中の星空観望会をS.P.V天文メンバーが行いました。

場所的に小野と郡山の境に有る山の中の為、光害が無く星空が全天に輝いて天体観望としてはもってこいの場所です。

観望会の内容は星の宅配便と同じ様に、晴天の場合は持参した望遠鏡で土星や月などの観望やレーザーポインターに依る星座の解説、天の川伝説やミザールの二重星の説明などで夜空を満喫しました。



7回の開催中曇りの日は3回有りましたが、室内で星座早見盤の作成やミニプラネタリウムに依る星空教室、さらに国立天文台Mitakaソフトを使って土星や海王星などの太陽系惑星探索や巨大天の川銀河の全容などの映像をプロジェクターで楽しみました。

今回もそうですが、子どもたちが望遠鏡を通して目を輝かして感動してくれる姿を見て、改めて天文のボランティア活動の醍醐味を感じさせてもらいました。

天文グループ 田辺信作

### 大成なかよしクラブ 活動報告

大成地域公民館 10月17日(土)

恒例になった「大成なかよしクラブ」の出張ボランティアを10月17日(土)大成地域公民館で実施しました。参加者は大成小学校児童1年生から4年生まで20人余り。科学グループからは7人で対応しました。

当日のメニューは『コケコッコカップ』・『種!タネ!たね』・『風船ロケット』の3メニュー。最初の『コケコッコカップ』では紙コップから出る大きな音に驚き、『種!タネ!たね』では自然界の「種の保存」の不思議を学び、3つ目の『風船ロケット』ではロケット作りよりも「飛ばす」ことに興味を示し、完成後の「ロケット飛ばし大会」は大いに盛り上がって終了となりました。

後日、科学館に大成なかよしクラブの代表者(保護者)から「大人もとても楽しめました」とお礼の電話があったと聞き、次回活動のパワーとさせていただきました。



科学グループ 山崎久夫

## 今号の きら星さん

早いもので、このボランティアの会へ入会して丸1年が過ぎました。

入会したばかりの頃は工作が上手に出来ずにいると先輩方が丁寧に教えて下さり、なんとか子ども達へ教える事が出来ました。今では子ども達に楽しく作ってもらうにはどうしたらよいか、いろいろ工夫しながらボランティア活動を満喫しています。子ども達が自分で作った工作で、「すごい!きれい!」などと目を輝かせていく時の笑顔はとても感動的です。

また科学グループは2ヶ月ごとに工作内容が変わるので、各種イベントや出張先での工作はいろいろバリエーションがあり、次はどんなものがくるか毎回ワクワクです。

私事ですが、覚えた工作を時々遊びにくる孫に作ってあげるととても喜んでくれ、「じいじいすごい」と言われていつも孫に自慢するあります。

この先もボランティアの皆様のお力を借りしつつ楽しんで行けたらと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

科学グループ 古谷文昭

